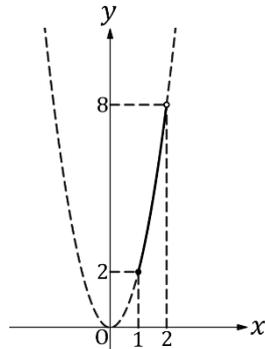


練習問題 1-A

1.

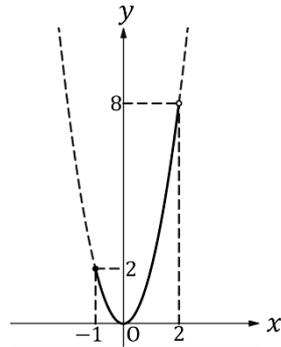
- (1) $x = 1$ のとき, $y = 2$
 $x = 2$ のとき, $y = 8$

$$2 \leq y < 8$$



- (2) $x = -1$ のとき, $y = 2$
 $x = 0$ のとき, $y = 0$
 $x = 2$ のとき, $y = 8$

$$0 \leq y < 8$$



2.

- (1) 頂点の座標が(2, 4)であるから, 求める放物線の方程式は $y = a(x - 2)^2 + 4$ とおくことができる.
 この放物線が, 点(0, 1)を通るから

$$1 = a(0 - 2)^2 + 4$$

$$1 = 4a + 4$$

$$4a = -3$$

$$a = -\frac{3}{4}$$

したがって, 求める放物線の方程式は

$$y = -\frac{3}{4}(x - 2)^2 + 4$$

- (2) 軸が $x = 1$ であるから, 求める放物線の方程式は $y = a(x - 1)^2 + b$ とおくことができる
 この放物線が, 2点(0, -1), (3, -10)を通るから

$$\begin{cases} -1 = a(0 - 1)^2 + b \\ -10 = a(3 - 1)^2 + b \end{cases}$$

整理すると

$$\begin{cases} a + b = -1 \\ 4a + b = -10 \end{cases}$$

これを解いて, $a = -3, b = 2$

したがって, 求める放物線の方程式は

$$y = -3(x - 1)^2 + 2$$

- (3) 求める放物線の方程式を $y = ax^2 + bx + c$ とおく.
 この放物線が, 3点(0, 4), (3, 1), (4, -4)を通るから, それぞれ代入して

$$\begin{cases} 4 = c \\ 1 = 9a + 3b + c \\ -4 = 16a + 4b + c \end{cases}$$

これを解いて, $a = -1, b = 2, c = 4$

したがって, 求める放物線の方程式は

$$y = -x^2 + 2x + 4$$

3.

- (1) $y = x^2 - 2x$
 $= (x - 1)^2 - 1$

よって

最大値 なし

最小値 -1 ($x = 1$ のとき)

- (2) $y = 2\left(x^2 + \frac{3}{2}x\right) + 2$
 $= 2\left\{\left(x + \frac{3}{4}\right)^2 - \frac{9}{16}\right\} + 2$
 $= 2\left(x + \frac{3}{4}\right)^2 - \frac{9}{8} + 2$
 $= 2\left(x + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{7}{8}$

よって

最大値 なし

最小値 $\frac{7}{8}$ ($x = -\frac{3}{4}$ のとき)

- (3) $y = -\frac{1}{2}(x^2 + 10x) + 1$

$$= -\frac{1}{2}\{(x+5)^2 - 25\} + 1$$

$$= -\frac{1}{2}(x+5)^2 + \frac{25}{2} + 1$$

$$= -\frac{1}{2}(x+5)^2 + \frac{27}{2}$$

よって

最大値 $\frac{27}{2}$ ($x = -5$ のとき)

最小値 なし

4.

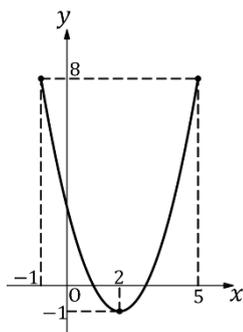
$$(1) y = (x-2)^2 - 4 + 3$$

$$= (x-2)^2 - 1$$

また

$$x = -1 \text{ のとき, } y = 8$$

$$x = 5 \text{ のとき, } y = 8$$



よって

最大値 8 ($x = -1, 5$ のとき)

最小値 -1 ($x = 2$ のとき)

$$(2) y = -3(x^2 + 2x) + 5$$

$$= -3\{(x+1)^2 - 1\} + 5$$

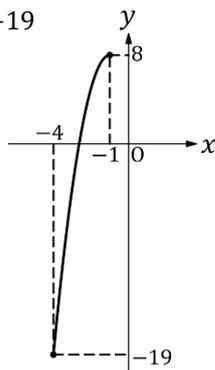
$$= -3(x+1)^2 + 3 + 5$$

$$= -3(x+1)^2 + 8$$

また

$$x = -4 \text{ のとき, } y = -19$$

$$x = -1 \text{ のとき, } y = 8$$



よって

最大値 8 ($x = -1$ のとき)

最小値 -19 ($x = -4$ のとき)

$$(3) y = -(x^2 - 3x) - \frac{1}{4}$$

$$= -\left\{\left(x - \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4}\right\} - \frac{1}{4}$$

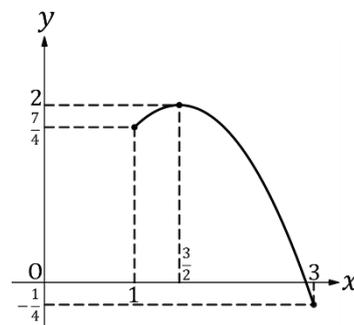
$$= -\left(x - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{9}{4} - \frac{1}{4}$$

$$= -\left(x - \frac{3}{2}\right)^2 + 2$$

また

$$x = 1 \text{ のとき, } y = \frac{7}{4}$$

$$x = 3 \text{ のとき, } y = -\frac{1}{4}$$



よって

最大値 2 ($x = \frac{3}{2}$ のとき)

最小値 $-\frac{1}{4}$ ($x = 3$ のとき)

5.

(1) $6x^2 - 13x + 6 = 0$ の判別式を D とすると

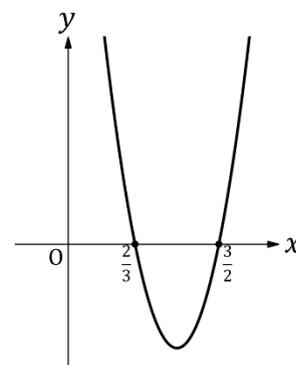
$$D = (-13)^2 - 4 \cdot 6 \cdot 6$$

$$= 169 - 144 = 25 > 0$$

$6x^2 - 13x + 6 = 0$ を解くと

$$(3x - 2)(2x - 3) = 0$$

$$x = \frac{2}{3}, \frac{3}{2}$$



$y = 6x^2 - 13x + 6$ のグラフより

$6x^2 - 13x + 6 \leq 0$ の解は

$$\frac{2}{3} \leq x \leq \frac{3}{2}$$

(2) $2x^2 - x + 3 = 0$ の判別式を D とすると

$$D = (-1)^2 - 4 \cdot 2 \cdot 3 \\ = 1 - 24 = -23 < 0$$

よって、 $y = 2x^2 - x + 3$ のグラフは、 x 軸と共有点をもたず、常に $y > 0$ である。

したがって、 $2x^2 - x + 3 < 0$ を満たす x は存在しないから、**解なし**。

6.

$y = x^2 - 3x - 4$ のグラフを、 x 軸の正の方向に p 平行移動させたグラフの式は

$$y = (x - p)^2 - 3(x - p) - 4$$

このグラフが原点を通るので

$$0 = (0 - p)^2 - 3(0 - p) - 4$$

これを解くと

$$0 = p^2 + 3p - 4$$

$$(p - 1)(p + 4) = 0$$

$$p = 1, -4$$

よって、 x 軸の正の方向に、**1または-4平行移動**すればよい。

7.

$$\begin{cases} y = x^2 - 2x + 2 \cdots \textcircled{1} \\ y = x^2 + 4x + 3 \cdots \textcircled{2} \end{cases} \text{とする.}$$

②のグラフを、 x 軸方向に p 、 y 軸方向に q 平行移動したグラフの式は

$$y - q = (x - p)^2 + 4(x - p) + 3 \\ y = x^2 - 2px + p^2 + 4x - 4p + 3 + q \\ = x^2 + (-2p + 4)x + (p^2 - 4p + q + 3)$$

これが、①と一致するので

$$\begin{cases} -2 = -2p + 4 \cdots \textcircled{3} \\ 2 = p^2 - 4p + q + 3 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

③より

$$-2p = -6$$

$$p = 3$$

これを④に代入して

$$2 = 3^2 - 4 \cdot 3 + q + 3$$

$$2 = 9 - 12 + q + 3$$

$$q = 2$$

したがって

x 軸方向に**3**、 y 軸方向に**2**平行移動したものである。

【別解】

$$x^2 - 2x + 2 = (x - 1)^2 - 1 + 2 \\ = (x - 1)^2 + 1$$

であるから、①のグラフの頂点は、(1, 1)

また

$$x^2 + 4x + 3 = (x + 2)^2 - 4 + 3 \\ = (x + 2)^2 - 1$$

であるから、②のグラフの頂点は、(-2, -1)

②のグラフを x 軸方向に p 、 y 軸方向に q 平行移動

したものが①に重なるとすると

$$-2 + p = 1, -1 + q = 1$$

よって、 $p = 3, q = 2$

したがって

x 軸方向に**3**、 y 軸方向に**2**平行移動したものである。

8.

$$y = \left(x + \frac{b}{2}\right)^2 - \frac{b^2}{4} + c$$

よって、与えられた放物線の頂点は

$$\left(-\frac{b}{2}, -\frac{b^2}{4} + c\right)$$

この頂点を、 x 軸方向に-2、 y 軸方向に5平行移動

させた点が(0, 2)になるので

$$\begin{cases} -\frac{b}{2} - 2 = 0 \cdots \textcircled{1} \\ -\frac{b^2}{4} + c + 5 = 2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

①より

$$-\frac{b}{2} = 2$$

$$b = -4$$

これを②に代入して

$$-\frac{(-4)^2}{4} + c + 5 = 2$$

$$-4 + c + 5 = 2$$

$$c = 1$$

よって、 $b = -4, c = 1$

9.

与えられた2次方程式の判別式を D とすると

$$\frac{D}{4} = (-2)^2 - 1 \cdot (k + 5)$$

$$= 4 - k - 5$$

$$= -1 - k$$

i) $D > 0$ のとき

$$-1 - k > 0$$

$$-k > 1$$

すなわち、 $k < -1$ のとき、実数解の個数は 2 個

ii) $D = 0$ のとき

$$-1 - k = 0$$

すなわち、 $k = -1$ のとき、実数解の個数は 1 個

iii) $D < 0$ のとき

$$-1 - k < 0$$

$$-1 < k$$

すなわち、 $k > -1$ のとき、実数解の個数は 0 個

以上より

$$\begin{cases} k < -1 \text{ のとき} & 2 \text{ 個} \\ k = -1 \text{ のとき} & 1 \text{ 個} \\ k > -1 \text{ のとき} & 0 \text{ 個} \end{cases}$$

練習問題 1-B

1.

2 式を上から①, ②とする.

①より

$$y = (x - 2)^2 - 4 + a$$

よって、①の頂点の座標は、 $(2, a - 4)$

②は放物線の方程式なので、 $b \neq 0$ であるから

$$y = b \left(x^2 - \frac{x}{b} \right) + 2$$

$$= b \left\{ \left(x - \frac{1}{2b} \right)^2 - \frac{1}{4b^2} \right\} + 2$$

$$= b \left(x - \frac{1}{2b} \right)^2 - \frac{1}{4b} + 2$$

$$= b \left(x - \frac{1}{2b} \right)^2 + \frac{8b - 1}{4b}$$

よって、②の頂点の座標は、 $\left(\frac{1}{2b}, \frac{8b - 1}{4b} \right)$

2 つの放物線の頂点が一致するので

$$\begin{cases} 2 = \frac{1}{2b} & \dots \textcircled{3} \end{cases}$$

$$\begin{cases} a - 4 = \frac{8b - 1}{4b} & \dots \textcircled{4} \end{cases}$$

③より

$$4b = 1$$

$$b = \frac{1}{4}$$

これを④に代入して

$$a = \frac{8 \cdot \frac{1}{4} - 1}{4 \cdot \frac{1}{4}} + 4$$

$$= \frac{2 - 1}{1} + 4$$

$$= 1 + 4$$

$$= 5$$

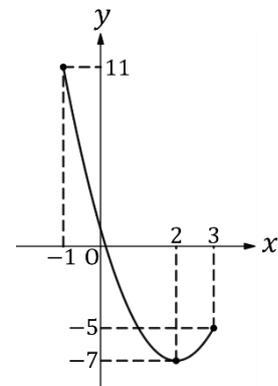
よって、 $a = 5, b = \frac{1}{4}$

2.

$$y = a(x^2 - 4x) + b$$

$$= a\{(x - 2)^2 - 4\} + b$$

$$= a(x - 2)^2 - 4a + b$$



よって、 $-1 \leq x \leq 3$ において、図のように

$x = -1$ で最大値、 $x = 2$ で最小値をとる.

$$x = -1 \text{ のとき, } y = a(-1 - 2)^2 - 4a + b = 5a + b$$

$$x = 2 \text{ のとき, } y = a(2 - 2)^2 - 4a + b = -4a + b$$

であるから

$$\begin{cases} 5a + b = 11 \\ -4a + b = -7 \end{cases}$$

これを解いて、 $a = 2, b = 1$

3.

与えられた不等式は 2 次不等式であるから、 $a \neq 0$

$$y = ax^2 - 4x + a + 3 \text{ とおく.}$$

i) $a < 0$ のとき

この 2 次関数のグラフは上に凸の放物線となり、すべての x に対して $y > 0$ となることはないから、

このときの a の値は存在しない.

ii) $a > 0$ のとき

この 2 次関数のグラフは下に凸の放物線となり、

$ax^2 - 4x + a + 3 = 0$ の判別式を D とするとき、
すべての x に対して $y > 0$ となるための条件は、
 $D < 0$ となることであるから

$$\frac{D}{4} = (-2)^2 - a \cdot (a + 3)$$

$$= 4 - a^2 - 3a$$

$$-a^2 - 3a + 4 < 0$$

$$a^2 + 3a - 4 > 0$$

$$(a - 1)(a + 4) > 0$$

$$a < -4, a > 1$$

$$a > 0 \text{ であるから, } a > 1$$

以上より、定数 a の範囲は、 $a > 1$

4.

点 C の座標を $(t, 0)$ とおくと、 D は放物線上の点なので、

$$CD = 4 - t^2 \quad \text{ただし, } 0 < t < 2$$

また、 $BC = 2t$ であるから、長方形の周の長さを L とすると

$$L = 2(4 - t^2) + 2 \cdot 2t$$

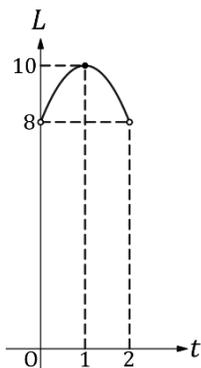
$$= -2t^2 + 4t + 8$$

$$= -2(t^2 - 2t) + 8$$

$$= -2\{(t - 1)^2 - 1\} + 8$$

$$= -2(t - 1)^2 + 2 + 8$$

$$= -2(t - 1)^2 + 10$$



よって、 $t = 1$ のとき、

周の長さ L は最大となり、

このとき、 $CD = 4 - t^2 = AB$ より、 $AB = 3$

5.

$$y = (x + m)^2 - m^2 - 4m$$

よって、最小値は $-m^2 - 4m$ であるから

$$s = -m^2 - 4m$$

$$= -(m^2 + 4m)$$

$$= -\{(m + 2)^2 - 4\}$$

$$= -(m + 2)^2 + 4$$

したがって、 $m = -2$ のとき、 s は最大となり、

その最大値は4である。

6.

(1) $AP > 0$ であるから、 AP^2 の値が最小となるとき、

AP も最小となる。

三平方の定理より

$$L = AP^2 = (0 - \sqrt{y})^2 + (a - y)^2$$

$$\text{したがって, } L = y + (a - y)^2$$

(2) (1) を標準形にすると

$$y + (a - y)^2 = y + a^2 - 2ay + y^2$$

$$= y^2 + (1 - 2a)y + a^2$$

$$= \left(y + \frac{1 - 2a}{2}\right)^2 - \left(\frac{1 - 2a}{2}\right)^2 + a^2$$

$$= \left(y + \frac{1 - 2a}{2}\right)^2 - \frac{1 - 4a + 4a^2}{4} + a^2$$

$$= \left(y + \frac{1 - 2a}{2}\right)^2 + \frac{-1 + 4a - 4a^2 + 4a^2}{4}$$

$$= \left(y + \frac{1 - 2a}{2}\right)^2 + \frac{4a - 1}{4}$$

軸の位置によって、場合分けをする。

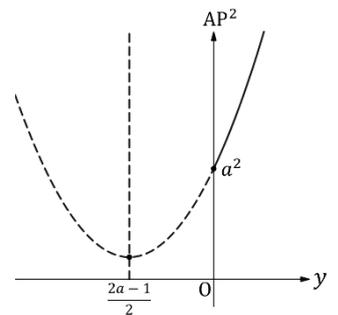
軸は、 $y = -\frac{1 - 2a}{2} = \frac{2a - 1}{2}$ であることに注意する。

i) $\frac{2a - 1}{2} \leq 0$ のとき

$$2a - 1 \leq 0$$

$$2a \leq 1$$

$$a \leq \frac{1}{2}$$



すなわち、 $0 \leq a \leq \frac{1}{2}$ のとき

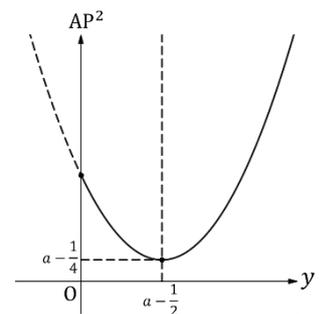
$y = 0$ において、 AP^2 は最小値 a^2 をとる。

ii) $\frac{2a - 1}{2} > 0$ のとき

$$2a - 1 > 0$$

$$2a > 1$$

すなわち、 $a > \frac{1}{2}$ のとき



$y = a - \frac{1}{2}$ において、 AP^2 は最小値 $a - \frac{1}{4}$ をとる。

以上より

$$\begin{cases} 0 \leq a \leq \frac{1}{2} \text{ のとき} & y = 0 \text{ で最小値 } a^2 \\ a > \frac{1}{2} \text{ のとき} & y = a - \frac{1}{2} \text{ で最小値 } a - \frac{1}{4} \end{cases}$$

7.

$$\begin{aligned}y &= a\left(x^2 + \frac{b}{a}x\right) + c \\&= a\left\{\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \left(\frac{b}{2a}\right)^2\right\} + c \\&= \left\{\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2}{4a^2}\right\} + c \\&= a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2}{4a} + c \\&= a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a}\end{aligned}$$

よって

$$\text{標準形 } y = a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a}$$

$$\text{軸の方程式 } x = -\frac{b}{2a}$$

$$\text{頂点の座標 } \left(-\frac{b}{2a}, -\frac{b^2 - 4ac}{4a}\right)$$